

# 令和8年 飯田市教育委員会4月定例会会議録

令和8年4月8日（水） 午後3時00分開会

## 【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	野澤 稔弘
教育委員	林 綾子
教育委員	麦島 真理子

## 【出席職員】

教育次長	秦野 高彦
社会教育担当参事兼国民スポーツ大会推進室長	堤 幹雄
教育政策課長	上沼 昭彦
学校教育課長	伊藤 寿
教育センター所長	松澤 和憲
生涯学習・スポーツ課長	木下 慎一郎
文化財保護活用課長兼考古博物館長	下平 博行
市公民館副館長	小林 和弘
文化会館館長	筒井 文彦
中央図書館長	矢澤 恵
美術博物館副館長兼歴史研究所副所長	牧内 功
教育政策課総務係長	北澤 五月

---

## 日程第1 開 会

- 教育長（熊谷邦千加） それでは、定刻になりましたので、ただいまから令和8年飯田市教育委員会4月定例会を開会いたします。

---

## 日程第2 会期の決定

- 教育長（熊谷邦千加） それでは、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期につきましては、本日4月8日の1日間といたしたいと思います。ご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

- 教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

今定例会の会期は、本日の4月8日、1日間に決定いたしました。

次の日程に進みます。

---

## 日程第3 会議録署名委員の指名

- 教育長（熊谷邦千加） 会議録署名委員として、麦島真理子教育委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

- 教育委員（麦島真理子） はい、承知しました。

---

## 日程第4 会議録の承認

- 教育長（熊谷邦千加） 続いて、3月定例会の会議録につきまして、承認を求めます。

あらかじめ、原案を各委員にお送りしておりますが、内容につきまして、ご異議等ございませんか。

（「ありません」との声あり）

- 教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、3月定例会の会議録は承認をいただきました。

次の日程に進みます。

---

## 日程第5 教育長報告事項

- 教育長（熊谷邦千加） 「4月教育委員会定例会 教育長報告事項」。

今回、特に資料等はございません。口頭で説明をさせていただきます。

先日の日曜日4月5日ですが、下黒田諏訪神社の春季禮祭の本祭りがありまして、これは毎年、一応、私、顧問という位置づけで呼んでいただいております、黒田人形の奉納上演が行われました。

それで、元市議会議長さんの井坪さんが進行役を、太夫見習いという立場で務めていられて、明るく軽妙な進行の下に、三番叟、観音靈験記、壺坂寺の段といったものが上演されました。後で分かったんですが、太夫と三味線を一人二役やっている方がいて、とても見事に演じていたのでびっくりしました。

その後に、高陵中学校の黒田人形部による「生写朝顔日記、宿屋より大井川の段」というのが行われました。太夫を生徒2人、男女で、三味線が男子2人、あと人形遣い8人と、卒業生、高校一年生だった3人も含まれていますが、全部で12人がその練習の成果を発揮していただきました。太夫の抑揚の付け方も上手で、三味線とも合って、見ている側も大きな拍手ともにおひねりが投げ込まれて、大変素晴らしい上演でした。

終わった後のマスコミも新聞にも載りましたが、感想では、地域の伝統芸能に関わることの喜びについて語ってくれていまして、なかなかありがたいことだなあと、中学生は立派だなあとということを改めて感心しました。

部活動のこれも地域展開になって、保存会と一緒に伝承館で練習するようなこともおっしゃっていましたが、学校は学校として、完全に手放すとかそういう意味じゃなくて、保存会の皆さん方に協力しながら、通知を出すとか、練習も学校でやってもらってもいいみたいなんですね。そんな立場で協力してくれるという方向で今進めております。

また、シャルルヴィル・メジエール市との交流も、今年度はちょっと検討していきたいなと思っているところであります。

あと、上村小の入学式に行ってみましたが、ここも去年、和田小学校で2人、やはり今年、上村小学校2人でありまして、特認校の子どもたち2人でありました。

非常に、お行儀よくにこにこしていて、一つ一つの動きが新鮮でした。子どもたちの動きに新たな希望といいますか、そういうものを子どもたちが抱いていることはよく分かりました。

私からの報告事項は以上ですが、何か今のことにつきまして、ご発言がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(「ございません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) また後で、ご報告、教育委員さんからもいただければと思います。

---

## 日程第6 議案審議（4件）

○教育長（熊谷邦千加） では、これより議案の審議に入ります。

---

### 議案第32号 遠山郷学園小学校再編検討委員会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 議案第32号、「遠山郷学園小学校再編検討委員会委員の委嘱について」を議題といたします。

議案の説明を上沼教育政策課長。

○教育政策課長（上沼昭彦） 資料4ページをご覧ください。議案第32号、遠山郷学園小学校再編検討委員会委員の委嘱についてでございます。

遠山郷学園小学校再編検討委員会設置要綱第3条の規定により、下記の2名の者を遠山郷学園小学校再編検討委員会の委員に委嘱をしたいと思いますのでございます。

遠山郷学園内の小学校の再編を円滑に推進するとともに、再編に伴い設置される学校の開校に向けた総合的な検討及び関係者との調整を行うため、資料5ページ、補足資料1に添付してございますが、再編検討委員会の設置要綱を策定いたしまして、この要綱に基づき再編検討委員会を設置しているところでございます。

この要綱の3条の2におきまして、再編検討委員会の委員は、以下、1～5項に掲げる者のうち、教育委員会が委嘱するということとなっております。

第1項にて、遠山郷学園内の小学校及び未就学児保護者を代表する者。

第2項におきまして、遠山郷学園内の小中学校長と定めているところでございます。

このたびの提案の理由でございますが、この要綱により昨年度、和田小学校のPTA会長と遠山中学校の校長先生を再編検討委員会の委員として委嘱したところでございます。今年度より、和田小学校のPTA会長が吉野一幸氏に交代されたこと。また、この度の人事異動によりまして、遠山中学校の校長に福与泰安氏が着任されたことを踏まえ、この2人を再編検討委員会の委員として新たに委嘱したいというものでございます。

資料7ページ、補足資料2といたしまして、今年度の再編検討委員会の委員名簿案を添付してございます。昨年度の再編検討委員会の委員との変更点、記載してございますが、所属が変わった方もいらっしゃいますが、新たに交代されるのは、今説明したお二人となります。

なお、委員の任期は、要綱第4条の規定に基づきまして、要綱第2条に規定する任務が終了するまでの間となります。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご質問、ご意見なしということで、それでは、議案第 32 号を採決いたします。

本案を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 32 号は、原案のとおり決定をされました。

---

### 議案第 33 号 学校運営協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第 33 号、「学校運営協議会委員の任命について」を議題といたします。

議案の説明を松澤教育センター所長、お願いします。

○教育センター所長（松澤和憲） 議案第 33 号、学校運営協議会委員の任命について、お願いいたします。

8 ページになります。

こちらは令和 8 年度学校運営協議会の委員として、各学園及び各学校長から推薦がございましたので、飯田市学校運営協議会規則第 7 条第 1 項の規定により、任命したくご提案を申し上げます。

各学校運営協議会委員は、記載の一覧のとおり、8 ページから 10 ページにかけてになります。

同規則第 3 条第 1 項の規定により、学園ごとに学校運営協議会が設置されます。また、同条第 2 項の規定により、必要に応じて学園内の学校に協議会を置くことができます。これにより、9 つの学園と必要であると判断した 17 の小中学校の学校運営協議会となります。

規則では、特に委員人数の規定はございませんので、各学園、各学校委員の数が異なります。

任期につきましては、同規則第 9 条第 1 項の規定で 1 年間となります。

説明は以上となります。よろしく申し上げます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの議案の説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたら

お願いいたします。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ございませぬね。

それでは、お諮りをいたしたいと思ひます。

ただいまの説明あつた議案第 33 号につきて、原案のとおり決定することにご異議ございませぬか。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご異議なしと認めます。

よつて、議案第 33 号は、原案のとおり決定をされました。

---

#### 議案第 34 号 学園長、副学園長の任命について

○教育長(熊谷邦千加) 次に、議案第 34 号、「学園長、副学園長の任命について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

松澤教育センター所長。

○教育センター所長(松澤和憲) それでは、議案第 34 号、学園長、副学園長の任命について、お願いいたします。

11 ページから 12 ページとなります。

提案理由ですが、飯田市中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校における小中一貫教育に関する規則第 4 条第 2 項及び第 5 条第 2 項の規定により、教育長の指名に基づき任命いたしたいというものです。

各学園の学園長、副学園長は、記載の一覧のとおりでございます。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○教育長(熊谷邦千加) ただいまの議案の説明につきて、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) それでは、これよりお諮りをしたいと思ひます。

本案を、原案のとおり採決、決定することにご異議ございませぬか。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご異議なしと認めます。

よつて、議案第 34 号は、原案のとおり承認をいただきました。

---

### 議案第 35 号 学園地域コーディネーターの委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第 35 号、「学園地域コーディネーターの委嘱について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

松澤教育センター所長。

○教育センター所長（松澤和憲） 議案第 35 号、学園地域コーディネーターの委嘱について、お願いいたします。

13 ページになります。

提案理由ですが、学園地域コーディネーター設置要綱（令和 7 年教育委員会告示第 12 号）第 4 条の規定により、下記の者に学園地域コーディネーターを委嘱したいというものです。

旭ヶ丘学園地域コーディネーターから退任の申し出があったため、これを認め、学園地域コーディネーター設置要綱第 4 条の規定により後任の方を委嘱したいとするものです。

任期は、前任者の在任期間として、令和 9 年 3 月 31 日までとなります。

どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） この件につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いをいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第 35 号を採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 35 号は、原案のとおり決定をされました。

次の日程に進みます。

---

### 日程第 7 協議事項

○教育長（熊谷邦千加） 本日の協議事項はございません。

次の日程に進みます。

---

### 日程第 8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） 本日は、「陳情審議」はございません。

では、次に進みます。

---

## 日程第9 その他

### (1) 教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 日程9「その他」ということで、「教育委員報告事項」でございます。

教育長職務代理者、教育委員の皆様方からご報告がございましたら、順次お願いいたします。

林教育委員。

○教育委員（林 綾子） 3月17日に、和田小学校卒業式に出席してまいりました。

3名の卒業式で、地元の方のご挨拶で、「この名前での小学校の卒業式が最後の2回になります」というご挨拶がありました。ですが、「校名はなくなっても伝統は残っていくと思う」というような前向きなご挨拶をいただいて、「本当にそうだな」というふうに感じさせていただきました。

また、翌日は、緑ヶ丘中学校 235名の卒業式に出席いたしました。前日と打って変わって大人数での合唱ということでかなり圧倒されて、また、卒業生の答辞の中で平和学習のことに触れてくれたのが非常に印象的でした。家族への感謝ですとかそういったこともあり、部活動のこともありましたが、「平和学習で戦争を絶対しないというふうに残った」というふうに言ってくれたのがすごく印象に残りました。

また、4月になりまして、4月6日の日は午前中は伊賀良小学校、午後は旭ヶ丘中学校の入学式に出席いたしました。小学校一年生、中学校一年生、それぞれに大変初々しい様子で、どちらも希望を感じさせる式であったなというふうに感じました。

そういった初々しい姿を見ておりますと、全てのお子さんが安心して過ごせる学校生活であってほしいなというふうに改めて強く思いました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） 卒業式、入学式、それぞれありがとうございました。

ほかの教育委員の皆さん方がいかがでしょうか。

野澤教育委員。

○教育委員（野澤稔弘） 同様に3月の17・18日で、伊賀良小学校と飯田西中学校の卒業式に行ってきました。

山田校長先生と小林校長先生がそれなりの区切りだったと思います。非常に感激している姿が横にあって、特に小林先生がかなり、涙腺が緩まれていました。西中では生徒会副

会長が送辞をして、答辞を生徒会長がされました。特に答辞は、非常に母親への思いが深い子で、「お母さん」という言葉が何度も出てきて、「感謝しています」ということを何度も話をしていました。会場の人も涙腺が緩んだと思います。私はこの答辞を聞いていて、「ああ、いいな」と。久しぶりに送辞・答辞を聞いていて、「気持ちのこもった言葉というのは、やっぱり響くな」というふうに感じた次第です。

それから、4月6日には、浜井場小学校と飯田東中学校の入学式に行っていました。東中ではPTAの方に知り合いがいて、やりづらいなと感じていました。私の顔を見ると手を振る方がいたりしたので、「ちょっと困ったな」と戸惑いました。しかしながら、この世代の方々がちょうど中学校のお子さんがあるんだなというふうに、そんなことも感じながら、「いいものだな」と思って帰ってまいりました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

続いてございますか。

じゃあ、麦島教育委員、お願いします。

○教育委員（麦島真理子） 私は、昨日、緑ヶ丘学園飯田市立下久堅小学校の入学式に行っていました。

入学式が始まる前に、新入生は卒業生の約半数ということで、「初めて全校児童が100名を下回った」というお話を校長先生からお聞きしておりました。

式は、先生方、保護者、あと地域の皆様に見守られたとても温かい雰囲気の中で行われ、11名の新一年生は、校長先生が一人一人のお名前を呼ぶと、全員「はい」と、とても元気な声で返事をして立ち上がり、非常に落ち着いている印象を受けました。また、上級生や保護者のほうを向いて、「一年生になったら」という曲をととても大きな声で楽しそうに歌う姿が印象的で、人数の少なさを感じさせず、とても可愛らしくて、小学校生活にワクワクしている印象を受けました。

この春は、私自身のプライベートでこどもが小中学校同時卒業・入学ということで、保護者としての立場を優先させていただき、教育委員のお仕事をご配慮いただきまして、大変ありがとうございました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

北澤職務代理、お願いします。

○教育長職務代理者（北澤正光） 私も皆さんと一緒に卒業式、入学式の話ですが、卒業式のほ

う、まずは千栄小へ行かせていただいて、卒業児童3名という、残った子どもたちは18名というような式でしたが、とても温かい式でした。

そのとき、校長先生とお話ししていて、「上久堅、千代、千栄の卒業生を全部足しても、竜東中へ行く新生が19人になってしまう」という話を聞いて、以前にも「私、竜東中に8年ほど勤めさせてもらった」と言ったんですが、その頃、全校がまだ170人くらいいた頃だったので、新生が20名を割り込んでしまうという、その激減ぶりというか。ですから、竜東中学校学区の皆さん、PTAの皆さんから相談が出ているのも、本当にうなずけるところだなと思って話を聞きました。そんな中ですが、来賓であった公民館長さんのお話の中に、卒業児童に向けて「皆さんの姿を見ることは地域の力にもなっているんです。これからも、ぜひ地域に姿を見せてください」という言葉がとても身に染みて心に響きました。

それから、保護者の方々もお一人ずつ謝辞を述べられていて、「コロナの年に入学した子どもたちが、在校生や先生方に支えられて、今日ここまで育ったことをとても嬉しく思う」という保護者の方のお言葉もとても心に染みしました。

翌日は、鼎中の卒業式のほうにも行かせていただきました。104名ということでしたが、こちらはPTA会長さんが非常に熱いメッセージを子どもたちに寄せられていて、「失敗するということは経験値となって、レベルアップの源になるので、失敗を恐れずやってほしい」ということと、「頼まれた仕事や係を引き受ける人に育ってほしい」という、かなり地域の状況や最近の大人の様子を心に込めて、子どもたちに送ったメッセージだったんだなというふうなふうに受け止めました。

入学式のほうは、卒業式とは雰囲気が変わって、なんとなく気分的に華やかだなという思いで参加させてもらいました。丸山小学校と竜丘小学校に行かせてもらいました。新生なので落ち着かないところもあるのですが、同世代の子どもの持つ力ってすごいなと思ったのは、児童会長が歓迎の言葉を述べる時になったら、それまで結構フラフラしている子もいたのですが、子どもたちみんなシャンとなって児童会長の言葉は聞くんですね。大人がしゃべっていると結構フラフラしているんですが、同世代がしゃべる言葉には耳を傾けるという、同世代の持つ力というのはすごいなと改めて思いました。

そんな中、新入見入場で、両校とも小学校だったので、先生方が何人もついて手厚く入場して連れてきて、席に導くんですが、そこで詰まってしまって、「この席」「この席」とかやっているのですよね。

個人的な話ですが、私の孫が他県で、今日、小学校の入学式だったのですが、入学式の

様子を動画で送ってくれて、目から鱗でした。というのは、学年5クラスの結構大きな小学校なのですが、六年生が新入生とペアになって手を引いて入場してくるんです。六年生がそれぞれの子の席へ案内してくれて、六年生は自席へ戻る。新入生は全然戸惑うこともなく、整然と入場して着席できるのを見て、さっきの「同世代の持つ力」って話じゃないんですが、子どもたちの力をもっと借りて式をつくってもいいなっていうことすごく感じました。この近隣の狭い範囲だけでみていると、入学式は先生が一生懸命になって慣れない子どもを導いて、席に座らせなきゃいけないみたいな発想になっているのですが、子どもの力を借りれば確かにもっとスムーズに、不安なく流れるんだなということも教えられた気がして、視野を広く持たないといけないなと思った次第です。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

私、卒業式の話をし損ねましたが、下久堅小学校の六年生と、飯田東中学校の三年生の卒業式に行っていました。

下久堅小学校は、下久堅の「ひさかたチャレンジ」ということで、各縦割りでやっていたので、六年生がリーダーシップを切ってやって、様々な好きなことや面白いことに取り組んだっていう、そういう雰囲気が感じられて、いい意味で学年の差がないっていうんですかね、そんな感じを感じました。また、飯田東中学校の卒業式は、やっぱりあの学年の子たちは合唱が素晴らしいという話を聞いていて、三年生のお返しの歌のときには泣けてきちゃって、思い切って声が出なかったようでした。でも、そういう東中の子どもたち、自分たちの学校に誇りを感じて、並木の活動もそうですし、いろんな活動に誇りを感じてやっているの、そういう凛とした姿が非常に印象に残ったなというふうでした。

いろんな意味で、やっぱり卒業式とか入学式っていうのは、子どもたちにとっても大事な、心に残る節目だなということを改めて感じたところでございます。

ありがとうございます。

では、続いて、次の日程に入りたいと思います。

---

## （2）教育次長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （2）番「教育次長報告」。

○教育次長（秦野高彦） ございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

### (3) 社会教育担当参事報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （3）のほうにまいります。「社会教育担当参事報告事項」。

堤参事。

○社会教育担当参事兼国民スポーツ大会推進室長（堤 幹雄） 大変お世話になります。この4月1日付の人事異動によりまして、社会教育担当参事、兼ねて、国民スポーツ大会推進室長を拝命いたしました堤 幹雄と申します。どうぞよろしく願いいたします。

1点、私のほうから口頭で報告をさせていただきます。

「2028 信州やまなみ国民スポーツ大会」の開催に向けまして、いよいよ5月に実行委員会の組織を立ち上げる運びとなってまいりました。現在、最終的な日程の調整をしており、5月中旬を予定しておりますが、設立総会、そして第1回総会ということで進めてまいる予定であります。

教育委員の皆様にも、参与という立場で、実行委員会のほうにも参画をしていただく計画でございます。

改めまして、ご案内等により、早めにご案内させていただきますが、ぜひご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの報告につきまして、何かご発言がありましたら。

よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

では、続いてまいります。

---

### (4) 教育政策課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 「教育政策課関係報告事項」。

上沼教育政策課長。

○教育政策課長（上沼昭彦） 資料3ページとなります。資料ナンバー9、(4)ア、こちらの資料をご覧ください。

遠山郷学園の小学校再編に向けた取組につきまして、経過と説明をさせていただきます。

この取組につきましては、本定例会におきましても、適宜報告をさせていただいているところございまして、本年1月の当定例会におきまして、昨年12月24日に再編検討委員会から教育委員会で検討の状況について報告をいただいたこと、また、それを踏まえ

して、教育委員会といたしまして、再編後の小学校の校名案を「飯田市立遠山小学校」とすることを決めいただいているところでございます。

本日、それ以降の取組状況につきまして、時系列で報告をさせていただきます。

資料2ページの中段をご覧ください。

1月21日に、第3回の校名等検討部会を開催いたしまして、再編後の小学校の校歌と校章の検討が始まりました。

また、2月18日に、第3回の通学等検討部会を開催いたしまして、令和8年度と9年度の通学方法について確認・検討をしております。児童生徒の通学に関しましては、児童生徒の通学環境、これが大きな影響がないように配慮をしていくこと、また、通学の方法に変更がある児童生徒に対しては、可能な限りその負担軽減する方策を検討すること、そして、児童生徒と保護者、また地域にとって安心でき、安全な通学方法を確保することを基本的な考え方としています。特に、再編後の小学校におきましては、現在の上村小学校の校舎を使うこととなりますので、南信濃地区の児童の通学方法について検討、また調整を重ねてくる中で、行き帰りともにスクールバス遠山線、これを使っていくこと、また、スクールバスの乗降場所は、南信濃地域交流センターを基本とすること、また、スクールバスの運行時刻は、学校の日課等と調整をし、進めている旨の報告をいただいているところでございます。

2月25日に、第2回の校務等調整部会と第3回の小学校再編検討委員会を開催してございます。第2回の校務等調整部会におきましては、1月13日に再編に伴う令和8年度からの合同生活授業、こちらについて、保護者の皆さんに説明会を開催いたしまして、意見交換を行ったこと、そして保護者との意見交換を踏まえまして、今年度からの実質的な再編となる合同生活授業の日程、学級の編成、また仮称ですが、「創造の時間」の実施に向けた検討を進めていること、また、施設の改修に伴いまして、学校の図書館を校舎の向かい側にございます「かみっこ交流館」に移設することなど確認・共有しているところでございます。

また、第3回遠山郷学園小学校再編検討委員会におきましては、各部会より検討の状況について報告をいただいております。詳細につきましては、4ページから「再編だより」の第3号を添付してございますが、その裏面に内容を記載させていただいております。

校歌や校章の検討が始まったこと、南信濃地区在住の児童の通学方法について検討が進み、具体的になってきていること、この4月からの合同生活授業の準備が進んでおり、特に40分授業の実施や、「(仮称)創造の時間」、これに向けまして、保護者に理解をいただ

きつつ、引き続き取り組んでいくことを確認しているところでございます。

3月11日に、第4回の校名等検討部会を開催いたしまして、再編後の小学校の校歌や校章の制作の方向性や、作成方法、またスケジュール等を確認・検討してございます。

校歌の作成にあたりましては、児童、子どもたちとの対話や関わり、これが大切だという認識の下、学校の教育活動としても取り組みまして、例えば歌詞の一部フレーズを児童と一緒に考えていく、そういった取組とともに、全体的な作詞・作曲については、飯田下伊那在住の音楽に精通し、造詣の深い方、いわゆる専門家をお願いしていく方向で進めていくということを確認してございます。また、その専門家につきましては、「できれば遠山地区のことをよく理解されている方、また、遠山郷学園の小学校や中学校に勤務経験のある、できれば音楽の先生が望ましい」といった意見等をいただいているところでございます。

また、校章の作成にあたりましては、現在の上村小学校と和田小学校の校章のそれぞれの要素、上村小におきましては「シャクナゲ」、和田小学校においては「お茶の花や葉っぱ」なのですが、これらを取り入れ、組み合わせで新たなデザインを専門家をお願いしていくと、その方向性等を確認しているところでございます。

また、再編後の小学校の校名でございますが、令和8年第1回市議会定例会におきまして、「飯田市立小学校及び中学校を設置する条例の一部を改正する条例の制定について」、具体的には、再編後の小学校の校名を「飯田市立遠山小学校」にすることについて議決いただきまして、再編後の校名が「飯田市立遠山小学校」に決定をしたところでございます。

資料3ページになりますが、今後の取組について記載させていただいております。

引き続き再編検討委員会を、各部会の検討、協議の状況を見定めながら、適宜開催してまいります。

また、校名等検討部会におきましては、引き続き校歌・校章の作成に向けた検討、協議を進めてまいります。

通学等検討部会におきましては、合同生活授業におけるスクールバスの運行に向けた準備、また実際の運行状況の確認とそれによって必要となった検討・調整を進めてまいります。

校務等調整部会においては、合同生活授業の実施に向けた準備や実践、また実践の振り返りと必要となる調整、また、来年4月からの完全な再編に向けた検討準備を引き続き進めてまいります。

教育委員会の事務局といたしましては、再編に伴う学校設置の届出、必要により国や県

との調整、また設置の条例が改正されましたので、それに伴う関連する規則、要綱、要領等の改正を進めるとともに来年4月の完全再編に向けた検討、協議、準備を進めてまいります。

資料4ページから「再編だより」の最新号を添付してございます。こちらは小学校再編の検討状況、また取組を地域の皆さんと共有するため適宜作成しているものでございまして、今回は再編後の小学校の校名が「飯田市立遠山小学校」に正式に決まったこと、またその理由、経過等を掲載しているところでございます。

報告は以上となります。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご発言がありましたらお願いいたします。

北澤職務代理。

○教育長職務代理者（北澤正光） 前々から申し上げていることと重なることですが、非常に綿密に進めていただけてきて、ここまで来ているなど思っています。特に、この遠山郷学園の小学校としての目玉の一つが、今、仮称ですが、「創造の時間」ということで、40分授業で構成しながら、スクールバスのことも勘案して、時間を生み出して、学校の特色にしようとしているということです。もう一年たつと、この六年生は中学生になるわけですね。ですから、小学校のほうで検討を進めていることは、もちろんこれを大いに進めてほしいのですが、中学のほうも学園として進めている以上、こういう目玉の取組を工夫していただきたい。「中学に行ったら、これが途切れてしまいました」は通らない話。要するに、少人数であることや、それから地理的な特性を逆に遠山郷学園の強みに変えていくという発想に立った時、中学のほうでもこれを受けて、柔軟な「創造の時間」の活用のようなことを、ぜひ前向きに検討していただきたいと思います。

前々から申し上げていますが、あまり中学のことが耳に入っていない。あの規模の学校で、例えば緑ヶ丘中とかというような規模の学校と同じような発想で学校運営をしていては、特色は出せないと思うし、活かせない。遠山郷学園でしかできない、ぜひあそこに行って学ばせたいと思えるようなものに、つくり上げていきたいなと思います。

小学校の検討を進めるだけでなく、それを受けて、中学校のほうもぜひ前向きに進めていただきたいと思いますなと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） さらにございませんか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

---

#### (5) 学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では、続きまして、「学校教育課関係報告事項」。

伊藤学校教育課長。

○学校教育課長（伊藤 寿） 8ページをご覧いただきたいと思います。

就学援助費等（通学費）の未支給について、ご報告をさせていただきます。

市内小中学校に在籍する児童生徒のうち、就学援助費支給対象者及び特別支援教育就学奨励費支給対象者が、公共交通機関を利用して通学する場合に受給することができる通学費が支給されていなかったことを確認いたしましたので、ご報告をさせていただきます。

就学援助費は、経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者、就学奨励費につきましては、特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対して、教育費の一部を支援する制度でございます。

通学費につきましては、片道の通学距離が児童にあつては4キロ、生徒にあつては6キロ以上の児童生徒が通学に利用する交通機関の旅客運賃が支給対象となり、特別支援学級の児童生徒にあつては通学距離は問わないということになっております。

未支給の状況でございますが、小学校が2家庭5人、中学校が2家庭2人、合計4家庭7人でございます。金額につきましては、小学校が8万3,000円、中学校が38,110円、合計12万1,110円でございます。期間につきましては、令和3年度から令和6年度まででございます。

該当する保護者の皆さんには、既に、直接ご説明とお詫びを行い、令和8年4月9日、明日に振込予定となっております。

確認の経緯についてでございますが、児童生徒の通学費支援を検討するため、市内小中学校において公共交通機関の利用を許可している、小規模特認校除く3校の児童生徒の現状把握を行うとともに、通学費支援の制度設計の参考とするため、飯田市就学援助費支給要綱を確認したところ、支給対象となる経費に通学費が存在したことから調査を行いまして、公共交通機関を利用している児童生徒の中に、通学費の支給対象者の存在を確認したものでございます。

未支給の原因につきましては、平成30年度から一部の学校で公共交通機関による通学を認め、現在は、小規模特認校を除く市内3校で利用許可しているところでございますが、

公共交通機関による通学を許可した時点で、学校宛通知や保護者宛て制度案内に通学費を記載していなかったことが要因と考えてございます。

再発防止に向けまして、国の要綱及び飯田市就学援助費支給要綱等に沿った事務処理ができるよう、既に、手順の見直しを行っており、課内連携による事務処理のチェック体制を強化してまいりたいと思います。

ご迷惑をおかけしたことお詫び申し上げます。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご発言がありましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

#### （6）教育センター関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では、続いて（6）番にまいります。「教育センター関係報告事項」。

○教育センター所長（松澤和憲） ございません。

---

#### （7）生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （7）番、「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」。

○生涯学習・スポーツ課長（木下慎一郎） ございません。

---

#### （8）文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続いて、（8）番、「文化財保護活用課関係報告事項」。

○文化財保護活用課長兼考古博物館長（下平博行） ございません。

---

#### （9）公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続いて「公民館関係報告事項」。

小林市公民館副館長。

○市公民館副館長（小林和弘） 今日は、次第にはございません。大変申し訳ございません。

机の上に令和7年度の飯田市の活動記録、冊子でございますが、置かせていただきました。

昨年の事業の総括であります。内容をまたお時間あるときに、ご覧いただければと思います。

公民館としまして、事業活動を振り返りながら、また新年度スタートをさせていただいておるところでございます。

以上です。

---

## (10) 文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（10）番、「文化会館関係報告事項」。

筒井文化会館館長。

○文化会館館長（筒井文彦） それでは、文化会館から3点お願いをいたします。

データで人形劇の関係2点、事前に配布させていただいています。

まず、人形劇の定期公演、4月の分でございますが、4月12日、日曜日でございますが、午後1時30分開演の人形劇の定期公演がございます。飯田人形劇場で会場を用意しております。出演の劇団でございますが、北安曇郡松川村の「くまっこや一座」の皆さんと、地元、竹田人形座の技術を学ばれております「竹の子会」の皆さん、座光寺を中心とした皆さんのものがございます。

こちらのほうは、毎月定期公演ということで行っておりまして、飯田で講座を受けていらっしゃる皆さんが中心ではありますが、今回のこの松川村の劇団の皆さんも、かつて飯田で学んだ皆さんが上演をしていただくということでございますので、お時間があればご覧いただければと思います。

2点目、こちらデータでございますが、川本喜八郎人形美術館の企画展のご案内でございます。

こちらの美術館では、年間3回に分けて企画展を行っておりますが、今回2回目の企画展といたしまして、平家物語の人形の企画展ということでございます。4月25日から7月20日までということでございますので、期間中ご覧いただければと思っております。

なお、チラシの裏面には年間スケジュールで、6月以降も様々なイベントを企画しておりますので、参考にご覧いただければと思います。

最後になりますが、この薄いグリーン色の「t o i t o i t o i」という冊子をご案内させていただきます。

文化会館では、4年前からこの「t o i t o i t o i」という冊子を発行して、飯田下伊那の文化芸術活動と新文化会館の進捗状況につきまして、ご案内を差し上げている冊

子でございます。

今回の第4号となりますものは、1枚めくっていただきますと、「オーケストラと友に音楽祭」を若い皆さんが支えていただくということでご紹介させていただいております。取材をさせていただいたのは昨年になりますが、この3名の皆さんは、今回のオケ友でも若手の中心メンバーとして活躍をいただいておりますので、ぜひ視察のときにもこういった皆さんとお話をさせていただければありがたいなと思っております。

説明は以上です。

○教育長（熊谷邦千加） 後でまとめてご発言いただければと思います。

---

### (11) 中央図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続いて、「中央図書館関係報告事項」。

矢澤中央図書館館長。

○中央図書館長（矢澤 恵） お願いいたします。

資料の12ページ・13ページをご覧ください。

こちらの資料は、図書館の「こどもタイム」のチラシの資料になりますが、説明といたしましては、この4月から飯田市立図書館と飯田市美術博物館で一緒に始めました「こどもタイム」について、ご説明させていただきます。

「こどもタイム」というのは、図書館と美術博物館を子どもの居場所として位置づけ、赤ちゃんや子どもが声出しても気兼ねなくご利用いただける時間を設けたものです。

子育て世代の社会教育施設の利用を促進し、親子が図書館や美術博物館の中でゆっくり本を読んだり、おしゃべりしながら展示を見たりすることで、親子のふれあいや絆を深めたいと機会提供したいと考えております。

この「こどもタイム」の設定した背景には、図書館が以前実施したアンケートですとか、集いの広場などでの話に行った機会の中で、「子ども連れだと図書館や美術博物館を利用しづらい雰囲気がある」ですとか、「子どもが泣いたら迷惑だと思いと気になって利用することができない」という声が寄せられたことがあります。また、普段利用されている方の様子を見ていまして、保護者の方が周囲に配慮して、子どもさんの普通の会話の声も制限するように声かけをしている場面も見られております。そのため、「こどもタイム」と時間を設定しましてPRすることで、気兼ねに感じていらっしゃる保護者の方が気持ちを楽に安心してご来館いただけるようにしていただく機会。また、天候に左右されず、ゆっくり過ごせる居場所としてもお使いいただきたいと思いますと思っております。もちろん、子どもさんの

利用をこの時間に制限するものではございません。これまで利用をためらっていた方が、この時間をきっかけとして来館していただく、そんなきっかけづくりとしてこの時間を設定しております。

また、子育て世帯以外の利用者の皆様には、ちょっとこの時間、館内がにぎやかになるかもしれませんが、皆さん、子育て中の家庭や子どもたちの育ちを温かく見守っていただければと思っております。

具体的な設定の時間は、こちらのお知らせ等をご覧くださいと思います。

また、年間通して大きなイベントをするのではなく、小さなイベントを数多くやっていくことで、小さな図書館や美術博物館へ向かうきっかけづくりをつくっていきたいと思っております。

説明は以上になります。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

## (12) 美術博物館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続いて、(12) 番、「美術博物館関係報告事項」。

牧内美術博物館副館長。

○美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは、美術博物館から 14 ページの「びはくにゅーす 5 月号」をご覧くださいと思います。

5 月予定の美術博物館・考古博物館の主催事業について記載しておりますが、美術博物館で行う展示につきましては、ご覧のとおり、5 月 24 日で全て終了となっておりますが、5 月 25 日から約 1 週間、収蔵庫等の燻蒸を行いまして、その後、展示会を行いまして、6 月 9 日から新たな展示を 4 つ行う、そんな予定であります。

プラネタリウムにつきましては、通常の番組投影と、5 月 23 日には「星空観望会」を開催しまして、「月と春の星座」について、実際の星を天体望遠鏡で覗きながら解説させていただきます。

最下段に書いてございます、5 月 17 日の「田中芳男と博物館の日」についてございますが、5 月 18 日が国際博物館の日とされておまして、この日の前後に、全国の美術館、博物館では、無料開館や講演会等の事業が行われます。

飯田市美術博物館では、飯田市出身で日本の博物館の父と呼ばれる田中芳男にとって、国際博物館の日が顕彰する機会とふさわしいとしまして、館独自に「田中芳男と博物館の

日」と名付けまして、今年度は5月17日に事業を行います。

左に書いてあります考古博物館も含めまして、展示の観覧料を無料にすること。右側に「びはくトークフリータイム」と名付けて、9時半から12時30分までの3時間ございますが、今、図書館で話がありましたこどもタイムの取組の一つとしまして、展示室で切れ目なく会話ができるような、そんな取組をさせていただきます。

それ以外の事業につきましては、続きます15ページの左の頭に書いてあります、「城下町を歩いて『時の番人』を探そう」という、そういう見学会を開きまして、まちなかにあります「何々の場人」というオブジェを探しながら、城下町の痕跡や田中芳男ゆかりの地を案内させていただきます。

あと、すみません、こちらに記載してございませんが、5月17日には、飯田市赤十字奉仕団、いわゆる日赤奉仕団の紙芝居分団の皆さんが作成しました紙芝居の「飯田市出身の物産学者 博物館の父 田中芳男」を好評につきまして、プロジェクターで投影しながら演じてもらう予定しております。

また、5月17日から24日まで、常設展示に田中芳男に関する資料を追加展示して紹介することも予定しております。

15ページ、そのほかの講演会、見学会、古文書講座等を記載しております。

関心のある催しがありましたら、また足を運んでいただければと思います。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

### (13) 歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続いて「歴史研究所関係報告事項」。

続いて、牧内歴史研究所副所長、お願いします。

○美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは、16ページ、「歴研ニュース」のNo.141号をご覧ください。

表紙は先月発行しまして、定例教育委員会で教育委員の皆様にご覧いただきました「飯田・下伊那の建築と景観 和田のまちなみと遠山谷の斜面集落」について記載してございます。

中を開きまして、今年度事業であります「市民研究員候補」と「研究活動助成」「飯田歴研賞2026」の候補作品の3つの事業の募集について記載しております。

3ページ上段につきましては、リレーエッセイ、下段につきましては、美術博物館と共催でやっております古文書の募集に関して書いてございます。

最終ページでございますが、6月6日に、飯田市役所を会場にしまして、オンライン併用で開催しますワークショップについて記載しておりますが、今回は、飯田中央図書館を定年退職後、歴史研究所で調査研究員として勤務された齊藤俊江さんの満洲移民や女性史について研究をまとめました著作の書評会開きますので、これについて記載しております。

中段・下段は、4月、5月のそれぞれゼミ・研究会等を記載しております。時間があるときにまたお目通しいただければと思います。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） それでは、今、報告がありました公民館、文化会館、図書館、そして美術博物館、歴史研究所と報告いただきましたが、ご質問、ご発言がありましたらお願いいたします。

野澤教育委員。

○教育委員（野澤稔弘） 図書館の「こどもタイム」という非常にいい取組かなというふうに思います。

それぞれの実施時間については、かなりご検討されたと思いますが、ちょっと短いなど感じたりするところがあります。その辺りは実施していく中で、今後考えていただければなどというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

○教育長（熊谷邦千加） 矢澤中央図書館館長。

○中央図書館長（矢澤 恵） 実施時間ですとか、曜日ですとか、かなり検討はいたしました。まず、第3日曜日、「結いの日」はまず実施をしようということは、最初からその方針でおりました。

また、分館につきましては、日曜日はやっていないので、やっている土曜日ということ。それから今、既にもうかなり「こどもタイム」に近い雰囲気になっていて、そんなに会話を気兼ねするような雰囲気ではないということもあります。

ただ、こちらの一般の利用者の方の利用と配慮がございまして、週1回を、まずこちら子どもの利用を制限するものではないということ。まず、きっかけとしていただく時間とさせていただくということで、週1回ぐらいが適当ではないかということで設けさせていただきました。

○教育委員（野澤稔弘） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） 牧内副館長。

○美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） 今、お話あったとおり、「結いの日」をまずは始めてみようということでやっております。

「博物館は、静かなところだ」というイメージで来られる方がいるので、こども連れに来ていただくという取組を知らずに来られた方が、それを許すというと極端ですが、理解していただけるかというのがあります。その両方の周知っていうのが必要なということで、今月から始まるわけなんですけど、まず試行しながら、やりながら考えていきます。あと、美博でやっている事業の中で、何かこどもに参加していただけるものがあるかという検討をしながら、これからやっていく段階でございます。

○教育委員（野澤稔弘） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） さらにございませんか。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） 全体を通して何か発言しそびれた、質問聞きそびれたというようなことがございましたら、いかがでしょうか。

野澤教育委員。

○教育委員（野澤稔弘） 先ほど報告のところでもちょっと言いそびれてしまったんですが、2つあります。

1つは迷うところでしたが、私が主催者側で席についていますが、PTA会長さんの祝辞があったときに、教頭先生と校長先生は礼を受けるために起立される場合があります。その場面で私が立とうとしたら「座ってください」ということでした。それでいいかどうか迷うところでした。どっちがいいのかなと思いながら、小学校も浜井場小学校でも座っていたし、東中でも座っていましたが、ちょっとなんとなく、そういうときは合わせたほうがいいかなというのが一つです。

もう一つは、校歌です。私は本当に地元の育ちじゃないので、全然校歌を知りません。その時間ずっと立って口ずさむこともなくじっと立っている状態になります。今回、東中では、学校通信の下に校歌の詩が載っていました。それは校歌を歌えないが、なんとなく詩を読みながらその時間を過ごせるので、ずっと黙ってこう立っていることに比べれば気持が全然違うので、もし学校でご用意できなければ無理を言いませんが、そういうのがあると次回から嬉しいなと感じた次第です。

○教育長（熊谷邦千加） 貴重なご意見をいただきました。

学校教育課で何かありますか。

検討はあとでもいいですよ。

どうぞ。

○学校教育課長（伊藤 寿） 実は、私も去年は松尾小学校と飯田東中で、それぞれ校長先生にお伺いしたら、「座っててください」ということだったので、私も本当にそのときに同じような思いがあって、今年はちょっと事前の話の中で、やっぱり立つところもあるというふうに聞いていたので、私、鼎中学校に行かせていただいたんですが、校長先生も初めてでしたので、特に何も確認することなく、一緒に立ってご挨拶をさせていただきました。

そのほうが多分私も座っているよりはよかったなということを実感しましたので、ちょっと来年に向けましては校歌のことも含めまして、考えていきたいと思います。といいますが、次は卒業式になりますので、かなり開いておりますので、よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） 何かご意見があれば。

○教育長職務代理人（北澤正光） 意見ではありませんが、私も相談を受けました。丸山小の校長先生が新しく替わられて、よその村から来られたので、「どうされますか」という。学校によっても校長先生、教頭先生、お二人立たれる学校と、校長先生だけが立って受けられている学校とある。

迷ったのですが、今まで行かせてもらったところは、基本校長先生がお立ちになって、お一人で学校を代表する形で受けの礼をされているので、こっち側で3人、要するに教育委員会と校長先生と教頭先生と3人立って答礼するっていうのも、ちょっとあまりに仰々しいかなという思いもあって、「校長先生が学校を代表されているので、基本、校長先生で礼を受けていただくのがいいんじゃないですか」とお伝えして、私はあえて立たなかったという経過があります。

それからもう一つは、野澤委員が言っていた校歌なのですが、校歌に限らず、学校から来るご案内によって、式次第が書かれているご案内をいただく学校と、何にもない学校があって、前のほうに式次第が小さく、昔は墨で黒黒と書いてあったのですが、今ほとんどパソコンが打ち出した字の細い、読めない式次第が、ただ形だけ貼ってあるという状況で、どこが出番になるんだろうか、正直言って分からない学校もある。片や丁寧に、式次第も、印刷されたご案内をいただく学校もある。それから、いただいたものの中に校歌が刷ってある学校もあれば、何にもない状態のただ来てほしいという時間の案内だけの学校もあり、それぞれの学校のやり口なのだろうと思っているところです。「どうなんでしょうね」というだけの話ですが。

○教育長（熊谷邦千加） 私も次第も何にもない学校からなので、「何にもないの」と聞くと「ない」と言われました。

どうぞ。

○教育委員（林 綾子） 私も式次第については学校によってはないところもありまして、そうするとちょっとドキドキするというか、私はどこで呼ばれるかなと。もちろん司会の方が言うてくださるのでいいんですが。校歌は確かにたまたま見える場所に貼ってある場合もありますので、私は校歌のとき、やはり立たせていただいて、でも学校によっては「座っていいですよ」って言われたときもあって、でもそのとき、もう立っちゃっていたので、「立ってるので大丈夫です」と言って立って、ということがありました。式次第などに校歌があれば、こういう歌詞なんだなって、もちろん歌えるところは私もないですから、こういう歌詞なんだなって拝見して過ごせるので、あると嬉しいなと思う反面、ただ、それを「一律に用意してください」って申し上げるのもちょっとあれなのかな、各学校それぞれでいいのかなと思います。

それと返礼に関して、私も立ったほうがいいかなと感じる時もありますが、一番最初の教育委員会の定例会で「座っていきましょう」という話で皆さんと話しておりましたので、特に立つつもりもなく座っておりました。

返礼に関してはどっちでもいいかなと私は正直思っていますが、校歌に関してはあると嬉しいという程度で、ただ、それをお忙しい中、用意してくださいっていうのも、という感じですかね。

○教育長（熊谷邦千加） はい、どうぞ。

○教育委員（野澤稔弘） 校長先生が答礼で代表されるのであれば、席順を変えてもらいたいと思います。一番高い席にいる人がずっとこうやって座っていて、これを受けるというのは、なんとなく違和感があります。その席を替えていただければ、私は座ったままでもいいのかなと思いますが如何でしょうか。

○教育長職務代理者（北澤正光） ただし、座ってはいるのですが、校長先生と一緒に礼はして、こちらも思いは伝えてはいるつもりです。まったく思いを伝えていないということではなくて、校長先生と合わせて必ず来賓の方に返礼をするということは、座ったままでしているのですが。

○教育長（熊谷邦千加） ちょっと検討させていただいて。

○教育委員（野澤稔弘） ちょっと何というわけではないので。

○教育長（熊谷邦千加） また、来年度のところで生かせるようにまたしたいなというふうに思っています。

その他はいかがですか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

#### (14) 今後の日程について

○教育長（熊谷邦千加） では、続きまして、最後の日程になります。「今後の日程について」、事務局より説明をお願いします。

北澤総務係長。

○教育政策課総務係長（北澤五月） では、本報告資料の2ページ、あるいは定例会会議事項の3ページ、(14) 今後の日程についてをご覧ください。

4月22日、水曜日に第1回校長会が、4月27日、月曜日に第1回教頭会がそれぞれございます。こちらの本会場、市役所のC311～313の会議室となりますので、よろしくお願いいたします。

また、既にお知らせのとおり、4月25日、26日には「第40回飯田やまびこマーチ」が、5月3日～6日にかけては、「オーケストラと友に音楽祭」がございまして、それぞれご予定をお願いしているところもあろうかと思っておりますので確認をお願いいたします。

5月に入って12日は5月定例会、こちらは市役所A301・302会議室ということで、いつもの会議室に戻ります。

また、5月14日木曜日、飯伊市町村教育委員会連絡協議会の総会及び春季の研修会が合庁で行われると連絡が入りました。また正式通知等まいりましたら、ご連絡を入れさせていただきます。

6月ですが、6月11日に6月定例会が、6月15日に第1回小中一貫教育推進委員会が行われますのでご予約願います。

今後の日程につきましては、以上となります。

○教育長（熊谷邦千加） 日程のところについて、何かご質問等ございますか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） では、よろしくお願いいたします。

---

#### 日程第10 閉会

○教育長（熊谷邦千加） では、以上で、教育委員会4月定例会を閉会といたします。

お疲れ様でした。

---

閉 会 午後 4 時 1 0 分